

今、私に出来る事。
あなたの声を町政に届ける事。



あなたと共に住み良い町へ！

第7回 夏季町政報告会

とき：平成28年7月10日（日） 午前10時から

ところ：仲区公民館

那珂川町仲3丁目6-18（現人神社横）

大変お忙しい中、恐縮ですが、ご近所様お誘い合わせにてご来場ください。

問 子宮頸がん予防ワクチン接種が公費負担で無料になった平成23年3月1日から現在までの接種者は本町で何人いるか。

答 H23年3月1日からH25年6月14日までに4,030人それ以降からH28年4月30日までに29人である。

問 接種後の追跡調査はしているのか、また、子宮頸がんワクチン副反応および、その疑いのある方が本町には、どれくらいおられるのか。

答 接種者全員への追跡調査はしていない。副反応報告書を提出する事例が1例あった。

問 町長は、本町に在住はしていないが、被害者団体の方や副反応被害者の方との面会を行う考えはあるのか。

答 自宅まで伺うのは難しいが、お会いしたいということであれば、それは、やぶさかではない。

問 現在、福岡県内では、27名被害を訴えている。今後、本町の接種者の追跡調査をするのか。

答 今後実施していく自治体の状況を確認し調査研究したい。本町の副反応報告書を提出された方には、その後の状況を確認する。

問 彼女たちが無くした、青春の一番楽しい時間は誰も、取り戻してあげることができないが、教育現場や本町の環境整備など彼女たちに寄り添えることは、あるのではないかと私は思う。町長として今後の姿勢を示して頂きたい。

答 4市1町の担当課長レベルで今後どうしたら良いのか等は、研究等していきたい。

H28年6月10日

一般質問・本町における子宮頸がんワクチン接種の現状と副反応被害の状況と対応について

平成27年1月31日の「全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会福岡県支部」の会合の時に中学3年生と、高校2年生の女の子が壇上で、身体的、精神的の症状において、大変辛い思いをされていると赤裸々に話してくれました。

また、平成28年5月14日の「子宮頸がんワクチン問題を考える 福岡の会」の勉強会の時には、車いすに乗って会場まで来てくれたお嬢さんがいました。彼女とお母さんは、包み隠さず辛い胸の内を話してくれました。

子宮頸がん予防ワクチン接種後、頭痛などの体調不良を訴えていたがお母さんは、たいして気に留めなかったそうです。

病院に行っても、原因は分からず、症状は悪化するばかりで、学校に行けば、泣きわめいたりして周りの友人からは、変な子と思われ、いじめの対象となり、自傷行為を行うまでなり大変辛い思いをされたそうです。そのなかで子宮頸がん予防ワクチンによる副反応のことや同じような被害者が居ること、救済の手を差し伸べる団体があることを知り、今後一筋の光を見いだすことが出来、彼女も頑張って高校進学を果たしたとのことでしたが、症状は改善することなく、悪化し、高校もわずか数日しか通えず、退学されたそうです。現在、彼女は車いすでの生活をしておりませんが、お会いした時に、はにかむ笑顔が、とても印象に残るとても可愛い子でした。

その子だけではなく全国には、多くの子宮頸がん予防ワクチン接種後に副反応被害が出たり、その疑いがある、多くの女性の方が、助けの手を求めている現状を学ぶうちに彼女たち、そして、「全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会 福岡県支部」と「子宮頸がんワクチン問題を考える 福岡の会」の考えに共感し、今回の一般質問をさせて頂くことになりました。

日々の活動や議会での報告、一般質問の映像は、HPでご覧ください。

裏面もご覧ください。

松尾まさたか

検索

先延ばしにて次の選挙が行われる平成32年に自主解散をしても、選挙費用約1,300万円の税金削減は同じ様に一度は行えます。自主解散を行う事で以後4年毎の選挙のたびに約800万円が将来に渡り削減できる事になります。

先延ばしすることで
約**800**万円
を放棄！

しかし、今年8月の町長選挙と同日選挙にせず、平成32年に先延ばしを行った場合、平成28年度に削減出来るはずの選挙費用の約800万円は放棄するしかありません。今回削減できるはずだった皆さまの税金約800万円は、放棄することになり、将来に渡って取り戻すことは出来なくなります。

「新未来なかがわ」は、7月19日以降の臨時議会にて町議会8月自主解散決議案を提出する予定です。

今年の8月28日には町長選挙、来年の3月26日には町議会議員選挙が行われますが、わずか7ヶ月しか離れておらず、今まで通りの選挙となれば町長選挙に1,198万円、町議会議員選挙に1,377万円、予算上、合計2,575万円の選挙費用が掛る予定です。

しかしながら、同日選挙にすることで選挙費用の約800万円に加え議会関係費用が約500万円削減でき、合計で約1,300万円の歳出削減が出来ます。

ただし、町長と町議会議員の同日選挙を行うには、議会が自主解散し、町長選挙の40日前以内に議決する必要があり、その場合は、特別採決がもちいられます。

特別採決とは、全議員の3分2以上の出席で、5分4以上の賛成で可決されます。

本町の定数は、17名ですので4名の議員が解散に反対すれば実現しません。

平成28年4月5日より時間をかけて、円満自主解散を目指して協議を行ってきましたが賛成10:反対7と調整はつかず、現在では協議が打ち切られています。

「新未来なかがわ」としては、皆様の大事な税金約800万円を放棄することは絶対にするべきでは無いと考え、自ら身を切る覚悟で議会自主解散決議案を提出し、7月19日ぐらいの臨時議会招集を行ってもらい、議場での採決に委ねることにしています。

臨時議会にて否決されれば、今回削減できるはずであった皆さまの大切な税金約800万円(選挙費用関係)は、二度と戻ってこないこととなります。

行政も身を切る思いで福岡女子商業高等学校の民営化にて今後、毎年約3億円程の歳出削減を行うことにしています。

今回の議会自主解散の歳出削減効果は、約1,300万円で削減できる金額に大小はありますが、執行権を持たない議会のみ、議員だけで出来るで出来る唯一の歳出削減策です。

行政には、住民の皆さまの税金を大切に使う様に、厳しく言うべき議会が約800万円もの税金を無駄にすべきでは無いと私は考えています。

「新未来なかがわ」は、今後も皆さまの立場に立ち努力を惜しまないことをお約束します。

募集中!

少しだけ、あなたのお力をお貸しください!

★ご近所にチラシ等を配ってくださる方。

★未来の政策と一緒に考えてくださる方。

★集会などのお手伝いをして頂ける方。

あなたの対話が、この町を変えます!



ご自宅や職場にてご友人が集まる機会がありましたら少人数でもお伺い致します。ご都合の良い日時をご連絡ください。

いつでもどこでも! だれでも!
「松尾まさたか」ミニ対話集会

松尾まさたか後援会のご案内

今後も、年に2回の町政報告会(毎年、2月・7月の第2日曜日の午前10時から仲区公民館)を継続し、活動報告や町への要望等をお聞きいたします。

広報誌の発行や会派報「新未来なかがわ」Newsを通じて広報活動報告を今後も継続します。

後援会入会は、いつでも受付けておりますので葉書・FAX・Mailにてお名前・ご住所・連絡先を記入して送付ください。

今後も、皆さまの声が町政に届き、より良い那珂川町になるように頑張ります。



951-2501



masaniari@sasuga.co.uk

那珂川町議会議員

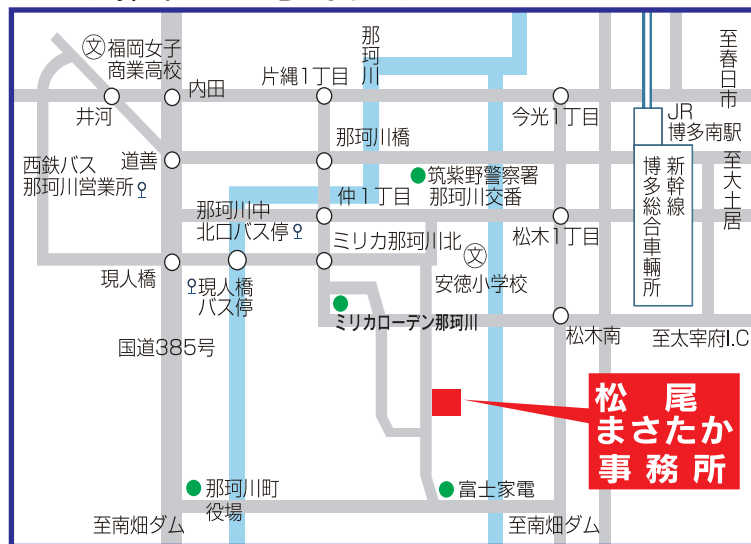
松尾まさたか事務所

〒811-1253 那珂川町仲4-6-12

電話: 951-2500 FAX: 951-2501

携帯: 090(5928)4522

※お気軽にお立ち寄りください。



新未来
なかがわ

「新未来なかがわ」は、町民目線でしっかりとした信念を持ち是々非々をハッキリ言う那珂川町議会議員5名で結成された会派です。

那珂川町議会議員会派

新未来なかがわ

江頭 大助 (会派長)
壽福 正勝・若杉 優
森田 俊文・松尾 正貴